

文部科学省指定

平成十八・十九年度「児童生徒の心に響く道徳教育推進事業」

ここころの力をはぐくみ

よりよく生きる生徒の育成

学校・家庭・地域の教育活動全体で培う
道徳的実践力

大仙市立大曲中学校
平成19年11月22日(木)

■ 前年度の取り組み ■

1 目指す生徒の姿の明確化と重点目標の設定

重点目標

- ①お互いを思いやり、共に向かって努力する生徒の育成
- ②夢や目標をもち、その実現に向かって努力する生徒の育成
- ③善悪の判断ができ、節度ある生活をする生徒の育成

生徒につけてこころの力

他を思いやるこころ

粘り強くやり抜くこころ

自らを律するこころ

2 重点目標の具現化

こころの力をはぐくむための

- ①授業改善
- ②意図的・系統的な読書活動
- ③家庭や地域との連携
- ④日常の意図的・継続的な実践

3 成果と課題を把握するための評価の工夫

- ①成果を把握する観点の明確化と評価の工夫
- ②学校公開による外部評価の活用
- ③生徒の意識調査や保護者へのアンケートで変容を把握

成 果

- 「授業を充実させるための基本型」の活用
意図的に困難を伴う場面を設定することで、粘り強くやり抜く姿がみられた。
- 意図的な読書活動
「心に響く曲中50冊」を選定することで、生徒の読書の幅が広がった。
- 道徳の時間における絵本の活用
生徒の興味・関心を高め、生徒との心の距離が近くなることがわかった。
- 家庭・地域との連携
家族からの手紙、地域にまつわる資料、ゲストティーチャーを活用することで、生徒たちの心に直に訴えかけることができた。

課 題

- 各教科の特性とこころの力との関連を明確にする。
- こころの力を育てる学び合いのある授業を構築する。
- 「心に響く曲中50冊」の内容を見直し、読むことをさらに奨励する。
- 「道徳の時間」における絵本の効果的な活用をさらに工夫する。
- 家庭や地域と共に生徒の心をはぐくむ「道徳の時間」の指導をさらに工夫する。

研究の概要

学校目標

一人一人が「よく生きる」豊かな学園の創造

生徒の実態

- 明るく素直な生徒が多い。
- 多様な力をもち、集団としての活力がある。
- 正しいと思っても、なかなか行動できない。
- 人のことよりも自分の利害を優先してしまう。
- 夢や目標に向けて努力する力が不足している。

教師の願い

- 互いを思いやる生徒
- 責任をもって最後までやり遂げる生徒
- 夢や目標に向かって努力し続ける生徒
- 善悪の判断がしっかりとでき、正しい行動がとれる生徒

保護者の願い

- 感謝の気持ちがもてる子ども
- 思いやりがある子ども
- 夢や目標をもってがんばれる子ども
- よいことと悪いことの区別がつく子ども



■ 文部科学省指定 平成18・19年度「児童生徒の心に響く道徳教育推進事業」■

〈研究主題〉

こころの力をはぐくみ、よりよく生きる生徒の育成

—— 学校・家庭・地域の教育活動全体で培う道徳的実践力 ——



【1】教科の授業改善

- ①「授業充実の基本型」の見直し
 - ・「困難を伴う場面」における学び合いの重視
- ②各教科の特性とこころの力との関連付け
 - ・道徳教育とのかかわりを意識した研究主題の設定
 - ・各教科の年間指導計画に「育てたいこころ」を明示



【2】特別活動の活性化

- ①学級活動の充実
 - ・話し合い活動を核とした学級づくり
 - ・「若竹タイム」で学級の課題を把握
 - ・学級活動コーナーの設置
 - ・学級活動の年間指導計画に「育てたいこころ」を明示
- ②生徒会活動の活性化
 - ・「心の力プロジェクト」の実施
 - ・各専門委員会の成果と課題を共有



【3】意図的な読書活動

- ①絵本を用いたこころの力の基盤づくり
 - ・「道徳の時間」の資料として絵本を活用
 - ・「こころの力をはぐくむ絵本リスト」の作成
 - ・絵本コーナーの設置
 - ・全職員及びボランティアによる絵本の読み聞かせ
 - ・生徒による絵本の読み聞かせコンサート
- ②多様な読書活動
 - ・朝読書の継続
 - ・「心に響く曲中50冊」の見直しと読書の奨励
 - ・図書委員会による読書集会の実施及び読書番組の制作
 - ・親子読書の奨励



【4】家庭・地域との連携

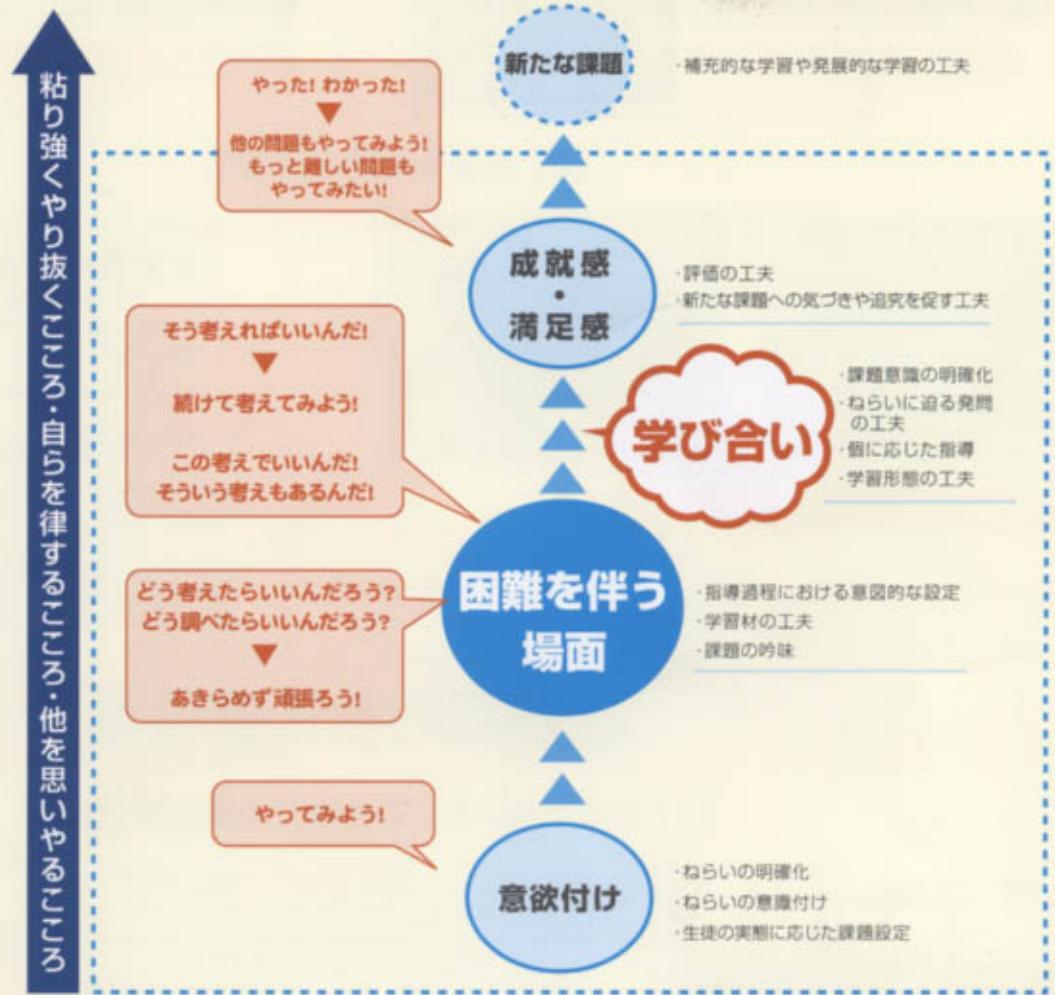
- ①「道徳の時間」における連携の在り方を工夫
 - ・地域の人材をゲストティーチャーとして活用
 - ・資料に関する保護者アンケートの活用
 - ・生徒と保護者がともに学び合う「道徳の時間」の実施
 - ・生徒と保護者の意見交流を意図した事後の活動
- ②家庭・地域との共通理解を深める活動
 - ・学校報、学年通信、学級通信等で取り組みを紹介
 - ・PTA等で「道徳の時間」の授業を実施
 - ・道徳的課題を見出す地区懇談会
 - ・「道徳の時間」と連動させたPTA講演会の実施

■ 今年度の研究実践 ■

1 教科の授業改善

【1】「授業充実の基本型」の見直し
「困難を伴う場面」における学び合いの重視

新・授業を充実させるための基本型



本校における学び合いの定義

- 他の視点で自分の考えを見つめ直す。
- 他の考えに触れることで自分の考えを広げる。
- 課題を焦点化し、共に問題意識をもって話し合う。
- いろいろな考え方を比較検討し整理する。
- 重要な事柄を共有する、まとめする。

学び合いが成立する条件

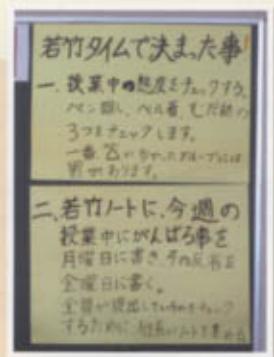
- 安心して自分の考えが言える学級(学習集団) → 話し合い活動を核とした学級づくり
考え方を話したくなる授業 → 授業改善
 - ・一人一人が根拠を明確にして考えをもつ
 - ・話し合う必然性をもたせる
伝え合える生徒の技能 → 筋道を立てて話す力の育成

2 特別活動の活性化

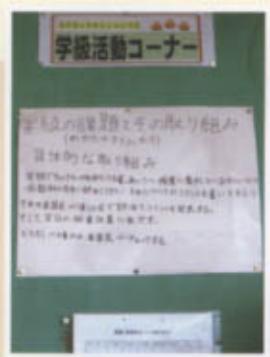
【1】学級活動の充実



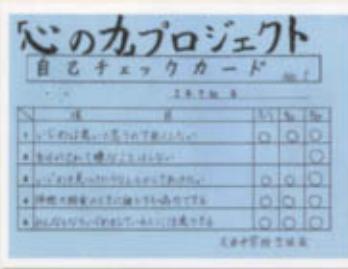
若竹タイム



学級活動コーナーの設置



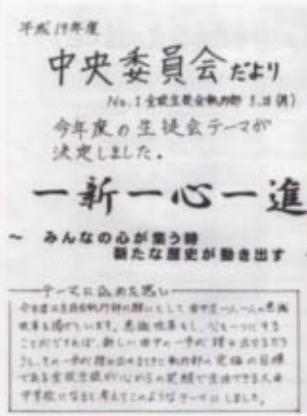
【2】生徒会活動の活性化



心の力プロジェクトでいじめに対する意識改革



各専門委員会の成果と課題を共有化



3 意図的な読書活動

【1】絵本を用いたこころの力の基盤づくり



「道徳の時間」の資料として絵本を活用

絵本名	著いちょう（鶴谷みよ子／ゴブナ社）	記入者	前 舟
考えられる価値	平和の尊さ		
あらすじ	おすすめポイント		
絵本名とお月さまは、たまに違うと出会つかかわいい!について語る。	神丸の寝巻が質屋屋に売り、服を喜ばせようとして子供、黒い縁を追いかけていて感動を紹げる。		
しかし、ある日、お月さまは直ぐ家に帰る、離れていた。山に迷って倒たわる子がいる。大樹にたたれて死んだ子が、しかも、誰も把くして死んでいない。一晩守お月さまは、光をふりそそいでいた。	心優しい事が、このような目に遭うやさしさを今の各組がどのように受け止めのか、興味深い資料である。		

「こころの力をはぐくむ絵本リスト」の作成

絵本名	著いちゃんへの手紙（ひーちゃん・D-House／河出書房新社）	記入者	千葉 勉一
考えられる価値	友情・理解、反対と向き、愛憎心		
あらすじ	おすすめポイント		
友人のオリバーと友げんかしてしまったぼくは、おじいちゃんにサリナボの鍋合に連れて行ってもらいう。そこには曾アメリカの歴史だった日本の歴史「オリー」「サキ」が大活躍していた……。	友人とのがんかをもじり前の太平洋戦争と書き換えて、主人公を讀んでいくおじいちゃんの言葉の温みを是非感じてもらいたい。		

全職員とボランティアによる絵本の読み聞かせ



絵本コーナーの設置

